

榊原病院 Monthly

Vol.14
2016.April

独立行政法人 榊原病院
国立病院機構
National Hospital Organization SAKIYARA Hospital
発行者 榊原病院企画課

院長

村上 優(むらかみ まさる)
1949年生まれ
74年九州大学医学部卒
86年国立肥前療養所精神科医長、2002年同療養所臨床研究部長、
同年King's College London Institute of Psychiatry(司法精神医学研究所)長期研修。
2005年花巻病院臨床研究部長(併任)、2006年琉球病院長を経て、2014年榊原病院長に就任。
日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事。
NGOベシャワール会の会長として活躍。

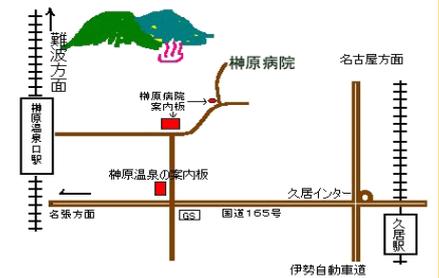


診療科

- 一般精神科
- アルコール・薬物依存症
専門外来
- こころのリスク外来

病床数 126床

- 精神科病棟 108床
- 医療観察法 18床
- 認知症ユニット
- アルコール・薬物依存症ユニット



電車・バス / 近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。
自動車 / 久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分
マイクロバス / 久居駅より直通バス(約25分)

病院理念

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

〈出会いの春〉

院長 村上 優

春分が過ぎると一気に春は進み、これをお届けする清明の候には爛漫とした春のなか、新しい人々を迎え入れる季節となります。先日、釈迦ヶ岳、国見岳、御在所岳など鈴鹿の山に遊んでいると日当たりのよい斜面にフデリンドウの群生と出会いました。春は出会いの季節です。

榊原病院も今年は29人の新しい仲間が増えます。社会人1年生から中堅の専門職、県内や隣県からの人、遠くは沖縄の琉球病院や佐賀の肥前精神医療センターからも6人が異動してきます。新しく赴任する人々は多職種で、医師、看護師、心理療法士、作業療法士、精神保健福祉士、管理栄養士、そして事務職です。これには目的があります。医師不足が解消して休棟していた病棟を5月16日に再開するためです。

この2年間で榊原病院の臨床環境は大きく変化をしてきました。受診者も増え医療ニーズに対応し、また榊原病院でしかできない精神科医療を提供してきました。一般精神科病棟はこれで3病棟になり、医療観察法病棟を入れると4病棟の構成になります。一般精神科病棟は急性期病棟(統合失調症、気分障害、アルコール・薬物依存や嗜癖、思春期医療など)、治療抵抗性精神疾患(主に統合失調症)の治療病棟、精神症状や行動障害のある認知症や発達障害のケアを重視した病棟を目指して3病棟よりなります。いずれも多職種チームを基礎にして、先進の生物・心理・社会的治療 bio-socio-psychological treatmentを担います。

それに合わせて全面的に3病棟の大きかりな改修を行います。日本でも有数の建築士が参加をしてともに企画を練り、改修前後での職員や患者さんの行動の変化を評価する研究も行います。環境が人々の行動や心理、そして人間関係にどのような変化を持たせるか楽しみです。

もう一つ大切にしていることがあります。出かける医療—アウトリーチの医療提供です。多職種による訪問看護による在宅支援だけでなく、医師も必要があれば様々な連携場面に参加をします。近隣の病院や回復者施設、三重にある他の国立病院機構(三重中央医療センター、三重病院、鈴鹿病院)などにも広い範囲に出かける医療を大切にします。

トピックス



- 平成28年3月1日、デイケアが南病棟2階から北病棟3階へ引越しました。
- 平成28年3月11日、三重DPATの派遣に関する協定を三重県と締結しました。
- 第19回「榊原温泉さくら祭り」平成28年4月2日9時より「湯の瀬」多目的広場にて



- 平成28年度「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)指導者養成研修」開催予定
 - ・平成28年7月11日(月)~14日(木)
 - ・平成28年10月24日(月)~27日(木)



榊原病院ホームページ
QRコード

地域医療連携室だより

〈図書ルームからのお知らせ〉

患者様・ご家族様に、図書を通じて病気や医療・福祉の情報を広く知っていただき、回復への志向・治療に取りむむ意欲を高め、治療に参加し、治療者とのより良いコミュニケーションにつながればと考えています。

入院患者様は自由散歩の時間を利用して、ふらっと寄ってパラパラと見て帰る方、しっかりと読み込んで帰る方など様々です。 開設時間：第2月曜日 11時～12時



空床状況 **4月1日現在** **精神科病棟** **3床**

訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできず使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっております。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標としております。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成28年3月までに全症例は26例となりました。3月の新規導入は1例でした。4月も順次投与を開始する予定です。

また、今後クロザピン専門外来の開設についても準備を進めていく予定としています。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状 (BPSD) に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか? 「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」(健康日本21)とされています。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。平成27年4月から当院のアルコール・薬物依存症治療のプログラムをリニューアルしました。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



デイ・ケア案内

デイケアは毎週、月・水・金の週3日、北病棟3階作業療法室奥で実施しています。実施時間は9時30分から15時30分です。

朝から参加するのは大変だという声もありますが、朝から起きて活動する場所として活用して頂きたいと思っております。昼食づくり等の新しいプログラムも行います。参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。

主な内容：症状自己管理教室、スポーツ、クッキング教室、カラオケ、など
 デイケアのパンフレットを外来待合室に置いてあります。また、病院ホームページに月間プログラムもあります。お気軽にお問い合わせ下さい。



榊原は自然がいっぱい!
お話ししながら歩きませんか?



大人気のクッキング教室で、カレーライスを作りました。

近況だより

三重DPATの派遣に関する協定締結について

榊原病院は、平成28年3月11日、三重県内外で地震、台風等の自然災害や航空機、列車事故等の大規模災害が発生した場合に、被災地域等における精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門チームとして、災害派遣精神医療チーム (三重DPAT) の派遣に関する協定を三重県と締結しました。

締結日現在では9病院15チームが三重DPAT隊員登録者名簿に登録し、当院からは4チームを登録しています。今後は隊員の技術の向上等を図るための研修や訓練に努めます。

